

# 日本自然災害学会会長の頃

伯野 元彦

私が、日本自然災害学会会長を仰せつかったのは、1990年4月から1993年3月までの3年間である。前会長石原安雄先生の後を引き継いだのだが、学会の状況はまことに心細いものであった。会員数は、600人程度であったと記憶しているが、なかなか増えず、しかもどの小さな学会もそうであるが会費未納者の多いのが頭痛の種で、会議のたびにどうしたら会員数を増やせるか、未納者を減らせるか、学会誌は続けていけるだろうかという話題が多かった。私は個人的にも、東大地震研究所の所長を同じ日に仰せつかり代理ではすまない公務が多くなり、そして又、自然災害科学の最後になった特別研究の代表者もやっていたので、多忙のため京都まで出向くことが出来ず電話で失礼させて頂いたことも多かった。ただ、私の後、土岐憲三先生が会長となり彼の手腕で経済的問題もかなり改善され、さらに阪神・淡路大震災が起こり国民の自然災害に対する関心も高まり、会員数も増え学会も磐石の態勢となったのは、ご同慶の至りである。

一方、この間の自然災害はというと国内では、台風洪水などの気象災害は自然災害科学の研究成果もあってか、大災害は少なく質的にも都市水害などに変ってきていた。この3年間の自然災害について述べてみたい。まず国内では、雲仙普賢岳の噴火活動が200年ぶりに1990年から5年間にわたって続き、溶岩ドームが形成されそれが崩れて火砕流となり、主として報道関係の方30名以上の犠牲者が出てしまった。これを契機に、国民の間に火砕流とは怖いものだという認識が定着

した。次に、1993年1月15日には、釧路沖地震が起きた。この地震は、多少変わっていて震源が101kmと深いせいもあって、海底で起こっているのに津波はほとんど無く、マグニチュードは7.8と非常に大きいにもかかわらず被害はたいした事はなかったが、釧路地方気象台の地盤上に設置されていた強震計は、EW 922ガルという当時では大変大きな加速度を記録した。しかも、その付近の構造物には何の被害もなかったので地震工学研究者の間では話題となった。最近では、2000年の鳥取県西部地震では、地盤上で1400ガルを超えるような記録が得られているので何も驚くことはないのだが。一方、海外に目を転じると、1990年7月16日、フィリピン、ルソン島にマグニチュード7.7という大地震が起こり、地表に125kmにわたって最大変位6.2mの左横ずれ断層が現れた。死者は2430名と比較的少なかったが、これはマニラのような大都市を直撃しなかったからである。1991年4月30日には、バングラデシュをサイクロンと6mの高潮が同時に襲い、14万人の犠牲者を出した。さらに同年5月から6月にかけて中国の華中大洪水が起こり、死者こそ2470人と少なかったが、被災者3億2500万人、失われた農地19万km<sup>2</sup>、日本の国土の半分以上という凄まじいものであった。1991年6月9日フィリピンでピナツボ火山が大噴火を起こし、大量の火砕物を噴出しその量は11km<sup>3</sup>に達しその範囲は5000km<sup>2</sup>に及んだ。これはフィリピン国立火山地震研究所による噴火予知情報が当たり適切な避難誘導があったため、そのような大噴火であっ

たにもかかわらず、死者・行方不明者は約 800 人と少なかった。米軍のクラーク基地はこの大量の降下火砕物のため閉鎖を余儀なくされた。1992 年 9 月 2 日には南米ニカラグアで、マグニチュード 7.2 の地震によって津波が発生した。この地震は、典型的な津波地震で、地震の揺れは小さく、感じない人も居たくらいである。それなのに数 m の大津波がやってきた。同年 12 月 12 日には、インドネシア、フローレス島沖でマグニチュード 7.5 の大地震が起き、4 m ほどの津波が島の北岸を襲った。死者・不明者 2080 人の半分は津波によるものと思われた。被災者からの聞き取り調査によると、地震の後、津波の来るということを知っていた人は一人もおらず、住民に対する啓蒙活動の重要性を痛感させる地震であった。以上、私が会長をしていた 3 年間の世界の自然災害を概観してみたのだが、大体の傾向はつかめると思う。つまり、世界の自然災害の犠牲者のかなりの部分はアジアで出ているということ、それも開発途上国で出ているということがわかる。同じ国であっても都会と地方とは自然災害に対する抵抗力に大変な差があるのである。例えば、都会では鉄骨の高層ビルが並んでいるのに、地方へ行くと日干し煉瓦の今にも壊れそうな建物と言う具合である。日本のように国土全体が均質化されているところはアジアでは無いといってもいいのではなからうか。この 3 年間にアジアの自然災害抵抗力を上げなければと痛感した次第である。